

- 1 日 時 平成 30 年 5 月 15 日（金） 15 時～18 時
- 2 場 所 ホテルニューオータニ佐賀
- 3 出席者 県内 各組合代表者・来賓
- 4 内田会長挨拶

昨年に北部九州豪雨が発生した。この時も我々は災害の変異に於いて何の防ぎすべも無く、企業においても突発的な環境変化に常に対策を怠っては成らない事を感じた。

国内経済は、景気拡大面から 5 年以上を経過し、景気動向を表す指標の一部に緩やかな増加が見られ、海外経済や金融市場の先行きに関し注意が必要としつつも景気は緩やかな回復基調にあるとされている。

しかしながら、地域における中小企業・小規模事業者は、原材料や燃油を始めとした、基本的生産資材が依然高止まりの状況にあり、加えて深刻な人手不足等先行き不透明感が深まる中で、依然として景気回復の実感の乏しく、厳しい経営状況が続いていると認識している。

今日のこの厳しい環境に、同じ悩みを持つ同志が連携し様々な問題を解決して行く事が重要である。

## 5 議 事

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告、決算関係書類承認の件

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画（案）、収支予算（案）、  
経費の賦課徴収方法（案）の決定の件

第 3 号議案 役員改選の件

新役員	会長	内田 健	（佐賀県火災共済協同組合 理事長）
	副会長	馬渡 雅敏	（佐賀県トラック協会 会長）
	副会長	木原 長正	（肥前陶磁器商工協同組合 理事長）
	副会長	福岡 桂	（佐賀県生コンクリート工業組合 理事長）

## 6 来賓の挨拶

### ◎ 志岐 部長 （佐賀県産業労働部）

今年 3 月より佐賀県条例 佐賀県中小企業・小規模事業振興条例が施行されました。直ぐに効果が出る事は無いが、これから皆さまと連携を取りながら取り組んでいきたい。佐賀県中小企業団体中央会は県内の中小企業の組合に多様な支援施策を積極的に取り組まれ非常に感謝しています。

今年は明治維新より 150 年を迎える。この記念すべき年に当たり肥前佐賀幕末維新博覧会を開催している。この事は未来にわたり維新の志を引き継いでいく事を目的としている。これからも人造りや、産業振興に取り組んでいきたい。

### ◎ 石倉 佐賀県議会議長

佐賀県の人口は現在 81 万人が 2040 年には 68 万人までに、更に 2060 年には 54 万人の減少が予想されている。

この為に地域に若者が定着してもらえる環境造りが大事である。地域がもつ資源や伝統を生かしてその地域を活性化していく事が何よりも大事です。又 中小企業が経営上直面する数々の問題で個々の力で解決できない事でも組合事業を通じて問題解決する事も有ります。今後も中小企業の発展のため県議会も努力していきたい。

懇親会の場で、

古川 康 衆議院議員の秘書にお会いして 全国電商連が推進している『街のでんき屋を応援する国会議員の会』の入会を勧めた。その日の夜に古川議員本人から快諾を頂いた。